

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス

海老名総合病院 脳卒中ケアユニット(SCU)を開設

海老名総合病院では、神奈川県央地区全体に専門的な脳卒中急性期診療を提供することを目的とし、2019年10月1日、脳卒中ケアユニット（SCU）を開設いたしました。

近年、本邦でも脳梗塞超急性期に血栓溶解療法や経皮的血栓回収療法が導入され、高いエビデンスが得られ、徐々にその治療適応が拡大されつつあります。当院においてもこれらの治療件数の増加は顕著であり、専門的に対応できる病床の整備は急務でありました。



当院では、これまでも地域の医療機関や救急隊からの要請に対し、脳卒中患者を24時間365日受け入れる体制を維持するとともに、リハビリテーションに関しても365日提供する体制をとっており、脳卒中診療に力を入れてきました。

SCU設置により、脳卒中超急性期医療の質を上げ、脳卒中診療体制の更なる向上を目指していきたいと考えております。患者様の健康のためにスタッフ一丸となり業務にあたりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

脳卒中ケアユニット（SCU）

SCUとは、急性期の脳血管障害（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）の患者様を受け入れる専用の病棟です。脳卒中の専門知識を持つ医師、看護師、リハビリテーション療法士らの多職種専門チームにより、脳卒中を発症早期から24時間体制で集中的に治療します。SCUで治療することにより、症状の早期回復、入院期間の短縮、自宅への退院率の増加、さらには重症患者の死亡率の低下などが得られ、長期的な日常生活能力や生活の質(QOL)の向上を図れることが明らかになっており、脳卒中治療ガイドラインにおいても強く推奨されている診療体制です。

■体制について

【SCU病床数】 専用病床3床（3対1看護基準適応病棟）

【スタッフ】 脳神経外科部長（小林智範医師）はじめ、常勤専任医師5名、専従看護師、専任リハビリテーション療法士、メディカルソーシャルワーカーの多職種医療チーム

【SCU医療機器】 MRI 2台、CT 2台、脳血管撮影装置1台（24時間稼働）

以 上